

土壌汚染

リスクを簡易判定

フェイス0.8競売物件対象に商品化

フェイス0.8
（本社・東京都千代田区
郵持一丁目）は、競売
物件を対象に、1件当
り10万円土壌汚染リス
クの簡易判定書を作成

きる「フェイス0.8」
システムを開発、商品
化。従来のフェイス
を実施した場合のコス
トに比べ、3分の1から
分の1のコストで済む。

競売物件は、近年、全
国で年間7万5000件
程度発生しており、これ
に合わせて、破綻した企
業の工場跡地や、汚染物
質を取り扱っていた業種
など、土壌汚染リスクが
想定される物件も急増し
ているという。

同社は今後、フェイス
0.8を、全国に広がる
業務提携先の調査会社に
技術移転し、普及を図ら
していく。同社は総合修
繕を担い、顧客にわかりや
すい資料を提供できるよ
うにする。競売物件以外
の大型案件にも適用して
いきたい考えだ。

土壌汚染リスクを確認
するための調査は、フェ
イス0.3からIIまでの
段階があり、最も詳細な
調査を行うII（サンプル
調査）では数百万円以上
資料などで調査する上で
も30万円から50万円程度
の費用がかかる。そのた
め、調査に踏み切るゲー
ムは少なかった。

フェイス0.8は、不
動産鑑定士・土壌汚染調
査技術士グループの協力を
得て開発したもので、
専門家が現地に立ち入
り、土壌汚染リスクを主
要汚染対策法に整合す
る。汚染の恐れがある区
画であるかどうかを判定
する。浄化費用の絞り込
み精度も高めるととも
に、提出書類などの添付
資料も充実させた。